

世界優良株ファンド (3ヵ月決算型) 愛称:プライム コレクション

運用報告書 (全体版) (第35作成期)

第69期 (決算日 2020年10月15日)

第70期 (決算日 2021年1月15日)

◆当ファンドの仕組みは次の通りです。

商品分類	追加型投信／海外／株式	
信託期間	2003年9月1日から2021年2月18日 (当初無期限)	
運用方針	信託財産の長期的な成長を目指して運用を行います。 ゴールドマン・サックス・アセット・マネジメント・インターナショナルから投資助言を受けます。	
主要運用対象	ベビーファンド	世界優良株マザーファンドを主要投資対象とします。
	マザーファンド	主として、世界主要国（日本を除く）の証券取引所に上場されている企業の株式および証券取引所に準ずる市場において取引されている企業の株式に投資します。
組入制限	ベビーファンド	株式への実質投資割合には制限を設けません。 外貨建資産への実質投資割合には制限を設けません。
	マザーファンド	株式への投資には制限を設けません。 外貨建資産への投資には制限を設けません。
分配方針	分配金額は、委託会社が基準価額水準、市場動向等を勘案して決定します。ただし、必ず分配を行うものではありません。	

お客様へ

毎々格別のお引立てにあずかり厚く御礼申し上げます。

さて、「世界優良株ファンド (3ヵ月決算型)」は、2021年1月15日に第70期決算を行いましたので、第69期から第70期の運用状況をご報告申し上げます。

今後ともより一層のご愛顧を賜りますようお願い申し上げます。

 **T&Dアセットマネジメント株式会社**

〒108-0014 東京都港区芝5-36-7

お問い合わせ先

投信営業部 03-6722-4810

(受付時間：営業日の午前9時～午後5時)

<https://www.tdasset.co.jp/>

最近5作成期の運用実績、基準価額の推移等

最近5作成期の運用実績

作成期	決算期	基準価額			MSCIコクサイ・インデックス (配当込み、円換算)		株式 組入比率	株式 先物比率	投資信託 証券 組入比率	純資産 総額
		(分配落)	税込み 分配金	期中 騰落率	(参考指数)	期中 騰落率				
		円	円	%		%	%	%	%	百万円
第31作成期	61期 (2018年10月15日)	9,768	50	△ 5.4	3,120.52	△ 3.3	91.2	—	4.6	1,708
	62期 (2019年1月15日)	9,058	50	△ 6.8	2,867.36	△ 8.1	91.0	—	5.5	1,577
第32作成期	63期 (2019年4月15日)	10,445	50	15.9	3,333.66	16.3	90.7	—	6.0	1,776
	64期 (2019年7月16日)	10,360	150	0.6	3,323.09	△ 0.3	91.1	—	5.3	1,724
第33作成期	65期 (2019年10月15日)	10,233	50	△ 0.7	3,287.86	△ 1.1	91.5	—	5.5	1,691
	66期 (2020年1月15日)	10,988	350	10.8	3,684.88	12.1	91.7	—	5.3	1,745
第34作成期	67期 (2020年4月15日)	9,124	50	△ 16.5	3,033.49	△ 17.7	88.6	—	7.3	1,397
	68期 (2020年7月15日)	10,310	50	13.5	3,468.47	14.3	89.8	—	6.3	1,562
第35作成期	69期 (2020年10月15日)	10,803	350	8.2	3,697.34	6.6	90.3	—	5.9	1,604
	70期 (2021年1月15日)	11,488	0	6.3	4,069.70	10.1	—	—	—	1,446

(注) 基準価額および分配金は1万円当たり。基準価額の騰落率は分配金込み。

(注) 当ファンドは親投資信託を組入れますので、組入比率は実質比率を記載しております。

(注) 先物比率=買建比率-売建比率

(注) 当ファンドは、ベンチマークを設定しておりません。参考指数であるMSCIコクサイ・インデックス(配当込み、円換算)は、MSCIコクサイ・インデックス(ドルベース)【出所:MSCI】をもとに当社において円換算したものです。
なお、指数算出にあたっては、基準価額への反映を考慮して営業日前日の指数を営業日当日の三菱UFJ銀行が発表する対顧客電信売買相場の仲値(TTM)で円換算しております。

当作成期中の基準価額と市況等の推移

年	月	日	基準価額		MSCIコクサイ・インデックス (配当込み、円換算) (参考指数)		株式 組入比率	株式 先物比率	投資信託 証券 組入比率
			騰落率		騰落率				
第 69 期	期首 (第68期末)		円	%		%	%	%	%
	2020年7月15日	10,310	—	3,468.47	—	89.8	—	6.3	
	7月末	10,395	0.8	3,435.04	△ 1.0	89.5	—	6.4	
	8月末	11,072	7.4	3,704.53	6.8	90.2	—	5.9	
	9月末	10,809	4.8	3,559.46	2.6	89.7	—	6.3	
	期 末								
	2020年10月15日	11,153	8.2	3,697.34	6.6	90.3	—	5.9	
第 70 期	期首 (第69期末)								
	2020年10月15日	10,803	—	3,697.34	—	90.3	—	5.9	
	10月末	10,211	△ 5.5	3,460.52	△ 6.4	89.4	—	5.9	
	11月末	11,373	5.3	3,861.90	4.5	89.9	—	5.2	
	12月末	11,496	6.4	3,973.53	7.5	—	—	—	
	期 末								
	2021年1月15日	11,488	6.3	4,069.70	10.1	—	—	—	

(注) 基準価額は1万円当たり。期末基準価額は分配金込み。騰落率は期首比。

(注) 当ファンドは親投資信託を組入れますので、組入比率は実質比率を記載しております。

(注) 先物比率＝買建比率－売建比率

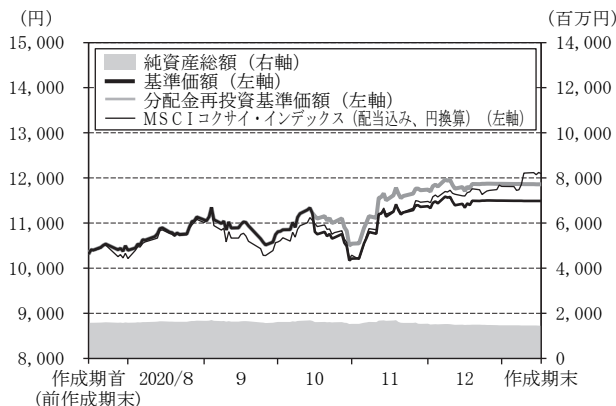
(注) 当ファンドは、ベンチマークを設定しておりません。参考指数であるMSCIコクサイ・インデックス（配当込み、円換算）は、MSCIコクサイ・インデックス（ドルベース）【出所：MSCI】をもとに当社において円換算したものです。

なお、指数算出にあたっては、基準価額への反映を考慮して営業日前日の指数を営業日当日の三菱UFJ銀行が発表する対顧客電信売買相場の仲値（TTM）で円換算しております。

*MSCIコクサイ・インデックスはMSCIが開発した株価指数で、日本を除く世界の先進国の株式市場の動きを捉える指数です。同指数に関する著作権、知的財産権その他の一切の権利はMSCIに帰属します。

当作成期の運用状況と今後の運用方針

■ 基準価額等の推移



第69期首 : 10,310円

第70期末 : 11,488円 (既払分配金350円)

騰落率 : 15.0% (分配金再投資ベース)

(注) 分配金再投資基準価額および参考指数は、作成期首(2020年7月15日)の値が基準価額と同一となるように指数化しています。

(注) 分配金再投資基準価額は、収益分配金(税込み)を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。

(注) 分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客様の損益の状況を示すものではありません。

■ 基準価額の主な変動要因

「世界優良株マザーファンド」を通じて、世界主要国(日本を除く)の株式に投資しました。世界主要国の株式が上昇したことなどが基準価額(分配金再投資ベース)上昇の要因となりました。

■ 投資環境

【外国株式市況】

米国株式市場は上昇しました。作成期初から2020年8月末にかけては、製造業や住宅関連の経済指標が市場予想を上回ったことや、新型コロナウイルスのワクチン・治療法の開発が進展したことなどが好材料となって株価は上昇しました。その後は、米中対立の深刻化や米国の追加経済対策成立の遅れ、ワクチンの治験が相次いで中断されたことや欧米を中心とした新型コロナウイルスの感染再拡大が懸念材料となって株価が下落する局面もありました。11月には、米大統領選挙において、民主党候補のバイデン氏の勝利が濃厚となり、同氏の掲げる大規模インフラ投資策や米中貿易摩擦の改善などへの期待が高まったことや、ワクチンの良好な治験結果が相次いで報告されたことなどが好感され、株価は上昇しました。その後も、英国に続き米国においてもワクチンの接種が開始されたことで経済活動正常化への期待が強まったことや、米追加経済対策への期待が株価を押し上げる展開となりました。

欧州株式市場は上昇しました。作成期初から10月上旬にかけては、EU(欧州連合)が新型コロナウイルスに関する復興基金設立で合意に達したことや、小売り関連企業などの良好な決算発表などが株価の好材料となった一方、欧州域内の新型コロナウイルス感染再拡大を背景に経済活動の再停止の可能性が高まったことや、英国とEUの通商交渉の先行き不透明感などが懸念材料となって、株価が上下に振れる展開が続きました。10月中旬から下旬にかけては、10月の独ZEW(欧州経済研究センター)景況感調査の期待指数が前月比で大幅に低下したことや、新型コロナウイルスの感染に歯止めがかからないなかフランスとドイツが感染対策の再強化を発表したことを受け、株価は大

■ 組入ファンドの当作成期中の騰落率

組入ファンド	騰落率
世界優良株マザーファンド	16.2%

幅に下落しました。その後は、ECB（欧州中央銀行）総裁がパンデミック緊急購入プログラムと条件付き長期リファイナンスオペの両施策の拡大を示唆したことや、ドイツが市場予想に反して比較的良好な経済指標を発表したことが好感されたほか、ワクチン接種の開始が早期の経済活動正常化観測につながったことや、米国の追加景気対策への期待が投資家心理を強めたことなどから株価は概ね上昇基調で推移しました。

【為替動向】

為替市場は、米ドルは対円で下落しました。107円台で始まった米ドル／円は、作成期末には103円台となりました。ユーロは対円で上昇しました。122円台で始まったユーロ／円は、作成期末には126円台となりました。

■ 当該投資信託のポートフォリオ

【当ファンド】

作成期を通じて「世界優良株マザーファンド」を高位に組入れて運用を行い、作成期初から2020年12月中旬に「世界優良株マザーファンド」が繰上償還に向けた安定運用に移行するまでの期間は、株式（投資証券を含む）の実質的な組入比率は概ね高位の水準を維持しました。

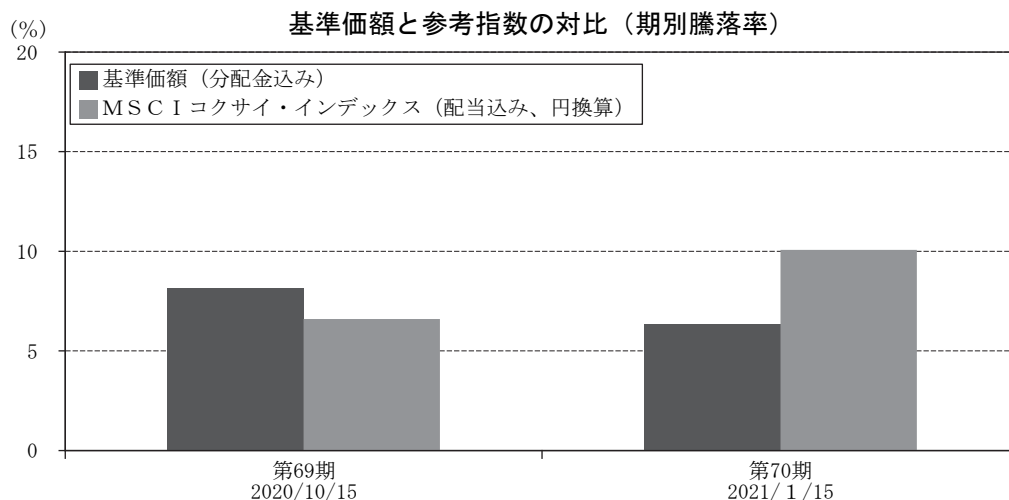
【世界優良株マザーファンド】

主要投資対象である世界主要国の上場株式等（投資証券を含む）の保有期間中の組入比率は概ね高位の水準を維持しました。また、企業収益見通しや株価バリュエーションを勘案し、銘柄入替えを行いました。主な入替えとしては、バーリントン・ストアーズ（米・衣料小売店経営会社）を新規に組入れました。一方、アッサ・アブロイ（スウェーデン・扉システムメーカー）を全売却しました。繰上償還に向けて2020年12月中旬に保有株式を全売却し、安定運用に切り替えました。

（注）文中の投資行動は、個別銘柄の売買等いかなる投資行動も推奨するものではありません。

■ 当該投資信託のベンチマークとの差異

当ファンドは運用の目標となるベンチマークを設けておりません。以下のグラフは、当ファンドの基準価額と参考指数の騰落率の対比です。



基準価額（分配金込み）は参考指数を2.3%下回りました。参考指数との比較では、TSMC（台湾・半導体メーカー）、ナイキ（米・スポーツ用品製造販売会社）等の株価が相対的に堅調であったことがプラスに寄与しましたが、アストラゼネカ（英国・製薬会社）、レキットベンキナー・グループ（英・家庭用品メーカー）等の株価が相対的に軟調であったことがマイナスに寄与しました。

■ 分配金

1万口当たりの分配金（税込み）は基準価額水準等を勘案し、第69期は350円、第70期は見送らせていただきました。

■ 今後の運用方針

【当ファンド】

「世界優良株マザーファンド」を投資対象とし、安定運用を行う同マザーファンドを繰上償還まで高位に組み入れて運用を行います。

【世界優良株マザーファンド】

繰上償還まで安定運用を継続します。

1 万口当たりの費用明細 (2020年 7 月 16日から2021年 1 月 15日まで)

費用の明細

項目	第69期～第70期		項目の概要
	2020/ 7 /16～2021/ 1 /15		
	金額	比率	
平均基準価額	10,892円		作成期間の平均基準価額です。
(a) 信託報酬 (投信会社) (販売会社) (受託会社)	89円 (43) (42) (4)	0.821% (0.393) (0.388) (0.040)	(a) 信託報酬＝作成期間の平均基準価額×信託報酬率 委託した資金の運用の対価 購入後の情報提供、運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理等の対価 運用財産の保管および管理、投信会社からの指図の実行等の対価
(b) 売買委託手数料 (株式) (投資信託証券)	6 (6) (0)	0.056 (0.054) (0.001)	(b) 売買委託手数料＝作成期間の売買委託手数料／作成期間の平均受益権口数 売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
(c) 有価証券取引税 (株式) (投資信託証券)	0 (0) (0)	0.002 (0.002) (0.000)	(c) 有価証券取引税＝作成期間の有価証券取引税／作成期間の平均受益権口数 有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
(d) その他費用 (保管費用) (監査費用) (その他)	5 (4) (1) (0)	0.041 (0.033) (0.008) (0.001)	(d) その他費用＝作成期間のその他費用／作成期間の平均受益権口数 保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管および資金の送金・資産の移転等に要する費用 監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用 その他は、金融商品取引を行うための識別番号に係る費用
合計	100	0.920	

(注) 作成期間の費用(消費税等のかかるものは消費税等を含む)は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

なお、売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、当ファンドが組入れている親投資信託が支払った金額のうち、当ファンドに対応するものを含みます。

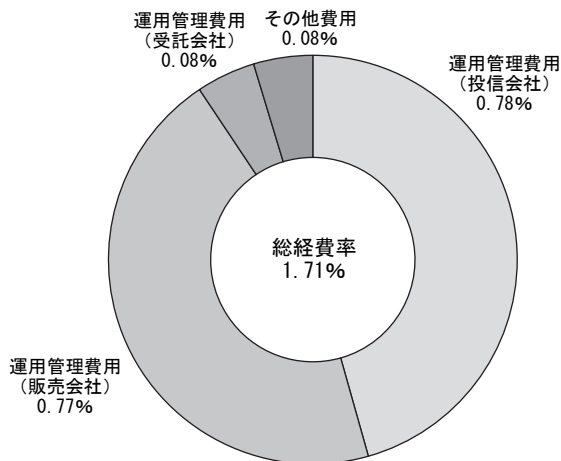
(注) 平均基準価額の円未満は切捨て、それ以外の各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注) 「比率」欄は1万口当たりのそれぞれの費用金額(円未満の端数を含む)を作成期間の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

(参考情報)

■総経費率

当作成期中の運用・管理にかかった費用の総額(原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を除く。)を作成期中の平均受益権口数に作成期中の平均基準価額(1口当たり)を乗じた数で除した総経費率(年率)は、1.71%です。



(注) 費用は、1万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。

(注) 各比率は、年率換算した値です。

(注) 上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率とは異なります。

売買および取引の状況 (2020年7月16日から2021年1月15日まで)

親投資信託受益証券の設定、解約状況

	第 69 期 ~ 第 70 期			
	設 定		解 約	
	口 数	金 額	口 数	金 額
	千口	千円	千口	千円
世界優良株マザーファンド	3,930	12,700	108,688	366,700

(注) 単位未満は切捨て。

株式売買金額の平均組入株式時価総額に対する割合 (2020年7月16日から2021年1月15日まで)

項 目	第 69 期 ~ 第 70 期	
	世界優良株ファンド (3ヵ月決算型)	世界優良株 マザーファンド
(a) 期中の株式売買金額	—	2,153,588千円
(b) 期中の平均組入株式時価総額	—	1,590,412千円
(c) 売買高比率(a)/(b)	—	1.35

(注) (b)は各月末現在の組入株式時価総額の平均。

(注) 単位未満は切捨て。

利害関係人との取引状況等 (2020年7月16日から2021年1月15日まで)

当作成期における利害関係人との取引はありません。

(注) 利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人です。

組入資産の明細 (2021年1月15日現在)

親投資信託残高

種 類	前 作 成 期 末 (第 68 期 末)	当 作 成 期 末 (第 70 期 末)	
	口 数	口 数	評 価 額
	千口	千口	千円
世界優良株マザーファンド	515,442	410,684	1,424,500

(注) 世界優良株マザーファンド全体の受益権口数は454,821千口です。

(注) 単位未満は切捨て。

投資信託財産の構成 (2021年1月15日現在)

項 目	当 作 成 期 末 (第 70 期 末)	
	評 価 額	比 率
	千円	%
世界優良株マザーファンド	1,424,500	97.3
コール・ローン等、その他	40,004	2.7
投資信託財産総額	1,464,504	100.0

(注) 外貨建資産は、作成期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。

なお、当作成期末における邦貨換算レートは以下の通りです。

1アメリカ・ドル=103.84円

(注) 世界優良株マザーファンドの当作成期末における外貨建純資産(173千円)の投資信託財産総額(1,599,291千円)に対する比率は0.0%です。

(注) 評価額の単位未満は切捨て。

資産、負債、元本および基準価額ならびに損益の状況

資産、負債、元本および基準価額の状況

2020年10月15日現在 2021年1月15日現在

項 目	第 69 期 末	第 70 期 末
(A) 資 産	1,663,064,341円	1,464,504,110円
コール・ローン等	83,142,257	25,403,587
世界優良株マザーファンド(評価額)	1,579,922,084	1,424,500,523
未 収 入 金	—	14,600,000
(B) 負 債	58,706,369	18,333,262
未 払 収 益 分 配 金	51,976,564	—
未 払 解 約 金	4,617	11,955,790
未 払 信 託 報 酬	6,662,106	6,317,696
未 払 利 息	91	43
そ の 他 未 払 費 用	62,991	59,733
(C) 純 資 産 総 額 (A - B)	1,604,357,972	1,446,170,848
元 本	1,485,044,691	1,258,864,113
次 期 繰 越 損 益 金	119,313,281	187,306,735
(D) 受 益 権 総 口 数	1,485,044,691口	1,258,864,113口
1万円当たり基準価額(C/D)	10,803円	11,488円

(注) 当ファンドの第69期首元本額は1,515,317,885円、第69～70期中追加設定元本額は30,835,347円、第69～70期中一部解約元本額は287,289,119円です。

(注) 第70期末の1口当たり純資産額は1,1488円です。

損益の状況

第69期 自2020年7月16日 至2020年10月15日
第70期 自2020年10月16日 至2021年1月15日

項 目	第 69 期	第 70 期
(A) 配 当 等 収 益	△ 4,110円	△ 3,537円
支 払 利 息	△ 4,110	△ 3,537
(B) 有 価 証 券 売 買 損 益	131,308,741	92,078,763
売 買 益	133,354,946	105,354,831
売 買 損	△ 2,046,205	△ 13,276,068
(C) 信 託 報 酬 等	△ 6,725,097	△ 6,383,369
(D) 当 期 繰 越 損 益 金 (A + B + C)	124,579,534	85,691,857
(E) 前 期 繰 越 損 益 金	166,775,037	200,690,964
(F) 追 加 信 託 差 損 益 金	△ 120,064,726	△ 99,076,086
(配 当 等 相 当 額)	(166,550,579)	(143,787,037)
(売 買 損 益 相 当 額)	(△ 286,615,305)	(△ 242,863,123)
(G) 合 計 (D + E + F)	171,289,845	187,306,735
(H) 収 益 分 配 金	△ 51,976,564	0
次 期 繰 越 損 益 金 (G + H)	119,313,281	187,306,735
追 加 信 託 差 損 益 金	△ 120,064,726	△ 99,076,086
(配 当 等 相 当 額)	(166,555,550)	(143,797,536)
(売 買 損 益 相 当 額)	(△ 286,620,276)	(△ 242,873,622)
分 配 準 備 積 立 金	239,378,007	286,382,821

(注) 損益の状況の中で

(B) 有価証券売買損益は、各期末の評価換えによるものを含みます。

(C) 信託報酬等には、信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しています。

(F) 追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差引いた差額分をいいます。

分配金の計算過程

[第69期]

計算期間末における費用控除後の配当等収益 (3,479,586円)、費用控除後の有価証券売買等損益 (35,168,764円)、収益調整金 (166,555,550円) および分配準備積立金 (252,706,221円) より、分配対象収益は457,910,121円 (1万円当たり3,083円) であり、うち51,976,564円 (1万円当たり350円) を分配金額としております。

[第70期]

計算期間末における費用控除後の配当等収益 (4,441,041円)、費用控除後の有価証券売買等損益 (81,250,816円)、収益調整金 (143,797,536円) および分配準備積立金 (200,690,964円) より、分配対象収益は430,180,357円 (1万円当たり3,417円) となりましたが、当計算期間の分配は見送らせていただきました。

分配金のご案内

分配金および分配原資の内訳

(単位：円・%、1万口当たり・税引前)

項目	第69期	第70期
	2020年7月16日 ～2020年10月15日	2020年10月16日 ～2021年1月15日
当期分配金	350	0
(対基準価額比率)	3.138	—
当期の収益	260	—
当期の収益以外	89	—
翌期繰越分配対象額	2,733	3,417

(注) 対基準価額比率は当期分配金(税込み)の期末基準価額(分配金込み)に対する比率で、ファンドの収益率とは異なります。

(注) 当期の収益、当期の収益以外は小数点以下切捨てで算出しているため合計が当期分配金と一致しない場合があります。

※分配落ち後の基準価額が個別元本と同額または上回る場合、分配金は全額普通分配金となります。

※分配前の基準価額が個別元本を上回り、分配後の基準価額が個別元本を下回る場合、分配金は個別元本を上回る部分が普通分配金、下回る部分が元本払戻金(特別分配金)となります。

※分配前の基準価額が個別元本と同額または下回る場合、分配金は全額元本払戻金(特別分配金)となります。

※元本払戻金(特別分配金)が発生した場合は、個別元本から元本払戻金(特別分配金)を控除した額がその後の新たな個別元本となります。

お知らせ

当ファンドは2021年2月18日に繰上償還を行うことが決定されたため、2020年12月16日に投資信託契約解約届出書を金融庁に提出しました。

世界優良株マザーファンド

運用報告書（全体版） 第35期（決算日 2021年1月15日）
（計算期間 2020年7月16日から2021年1月15日まで）

「世界優良株マザーファンド」は、2021年1月15日に第35期決算を行いましたので、期中の運用状況をご報告申し上げます。

◆当ファンドの仕組みは次の通りです。

信託期間	2003年9月1日から2021年2月17日（当初無期限）
運用方針	信託財産の長期的な成長を目指して運用を行います。
主要運用対象	主として、世界主要国（日本を除く）の証券取引所に上場されている企業の株式および証券取引所に準ずる市場において取引されている企業の株式に投資します。
組入制限	株式への投資には制限を設けません。外貨建資産への投資には制限を設けません。

最近5期の運用実績、基準価額の推移等

最近5期の運用実績

決算期	基準価額		MSCIコクサイ・インデックス (配当込み、円換算) (参考指数)		株式 組入比率	株式 先物比率	投資信託 証券 組入比率	純資産 総額
	円	期中 騰落率		期中 騰落率				
31期 (2019年1月15日)	23,925	△ 11.2	2,867.36	△ 11.1	92.4	—	5.6	1,727
32期 (2019年7月16日)	28,179	17.8	3,323.09	15.9	92.5	—	5.4	1,902
33期 (2020年1月15日)	31,273	11.0	3,684.88	10.9	93.1	—	5.4	1,925
34期 (2020年7月15日)	29,863	△ 4.5	3,468.47	△ 5.9	91.2	—	6.4	1,708
35期 (2021年1月15日)	34,686	16.2	4,069.70	17.3	—	—	—	1,577

(注) 基準価額は1万円当たり。

(注) 先物比率=買建比率-売建比率

(注) 当ファンドは、ベンチマークを設定しておりません。参考指数であるMSCIコクサイ・インデックス（配当込み、円換算）は、MSCIコクサイ・インデックス（ドルベース）【出所：MSCI】をもとに当社において円換算したものです。
なお、指数算出にあたっては、基準価額への反映を考慮して営業日前日の指数を営業日当日の三菱UFJ銀行が発表する対顧客電信売買相場の仲値（TTM）で円換算しております。

当期中の基準価額と市況等の推移

年 月 日	基準 価 額		MSCIコクサイ・インデックス (配当込み、円換算)		株 式 組入比率	株 式 先物比率	投資信託 証 券 組入比率
		騰落率	(参考指数)	騰落率			
期首 (前期末) 2020年 7月15日	円	%		%	%	%	%
7月末	29,863	—	3,468.47	—	91.2	—	6.4
8月末	30,133	0.9	3,435.04	△ 1.0	90.9	—	6.5
9月末	32,170	7.7	3,704.53	6.8	91.5	—	6.0
10月末	31,441	5.3	3,559.46	2.6	91.0	—	6.4
11月末	30,682	2.7	3,460.52	△ 0.2	90.8	—	6.0
12月末	34,267	14.7	3,861.90	11.3	91.0	—	5.3
期 末 2021年 1月15日	34,686	16.2	3,973.53	14.6	—	—	—

(注) 基準価額は1万口当たり。騰落率は期首比。

(注) 先物比率=買建比率-売建比率

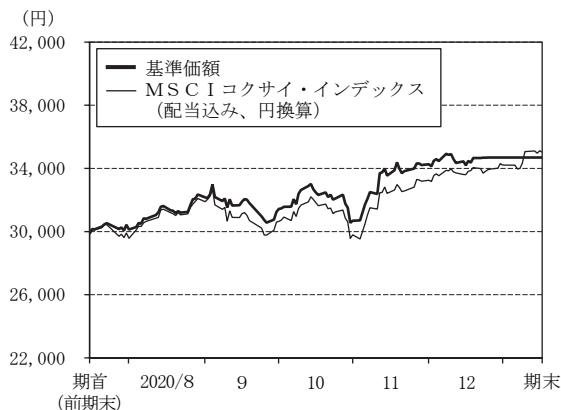
(注) 当ファンドは、ベンチマークを設定しておりません。参考指数であるMSCIコクサイ・インデックス(配当込み、円換算)は、MSCIコクサイ・インデックス(ドルベース)【出所:MSCI】をもとに当社において円換算したものです。

なお、指数算出にあたっては、基準価額への反映を考慮して営業日前日の指数を営業日当日の三菱UFJ銀行が発表する対顧客電信売買相場の仲値(TTM)で円換算しております。

*MSCIコクサイ・インデックスはMSCIが開発した株価指数で、日本を除く世界の先進国の株式市場の動きを捉える指数です。同指数に関する著作権、知的財産権その他の一切の権利はMSCIに帰属します。

当期の運用状況と今後の運用方針

■ 基準価額等の推移



(注) 参考指数は期首(2020年7月15日)の値が基準価額と同一となるように指数化しています。

■ 基準価額の主な変動要因

世界主要国(日本を除く)の株式に投資しました。世界主要国の株式が上昇したことなどが基準価額上昇の要因となりました。

■ 投資環境

【外国株式市況】

米国株式市場は上昇しました。期初から2020年8月末にかけては、製造業や住宅関連の経済指標が市場予想を上回ったことや、新型コロナウイルスのワクチン・治療法の開発が進展したことなどが好材料となって株価は上昇しました。その後は、米中対立の深刻化や米国の追加経済対策成立の遅れ、ワクチンの治験が相次いで中断されたことや欧米を中心とした新型コロナウイルスの感染再拡大が懸念材料となって株価が下落する局面もありました。11月には、米大統領選挙において、民主党候補のバイデン氏の勝利が濃厚となり、同氏の掲げる大規模インフラ投資策や米中貿易摩擦の改善などへの期待が高まったことや、ワクチンの良好な治験結果が相次いで報告されたことなどが好感され、株価は上昇しました。その後も、英国に続き米国においてもワクチンの接種が開始されたことで経済活動正常化への期待が強まったことや、米追加経済対策への期待が株価を押し上げる展開となりました。

欧州株式市場は上昇しました。期初から10月上旬にかけては、EU（欧州連合）が新型コロナウイルスに関する復興基金設立で合意に達したことや、小売り関連企業などの良好な決算発表などが株価の好材料となった一方、欧州域内の新型コロナウイルス感染再拡大を背景に経済活動の再停止の可能性が高まったことや、英国とEUの通商交渉の先行き不透明感などが懸念材料となって、株価が上下に振れる展開が続きました。10月中旬から下旬にかけては、10月の独ZEW（欧州経済研究センター）景況感調査の期待指数が前月比で大幅に低下したことや、新型コロナウイルスの感染に歯止めがかからないなかフランスとドイツが感染対策の再強化を発表したことを受け、株価は大幅に下落しました。その後は、ECB（欧州中央銀行）総裁がパンデミック緊急購入プログラムと条件付き長期リファイナンスオペの両施策の拡大を示唆したことや、ドイツが市場予想に反して比較的良好な経済指標を発表したことが好感されたほか、ワクチン接種の開始が早期の経済活動正常化観測につながったことや、米国の追加景気対策への期待が投資家心理を強めたことなどから株価は概ね上昇基調で推移しました。

【為替動向】

為替市場は、米ドルは対円で下落しました。107円台で始まった米ドル／円は、期末には103円台となりました。ユーロは対円で上昇しました。122円台で始まったユーロ／円は、期末には126円台となりました。

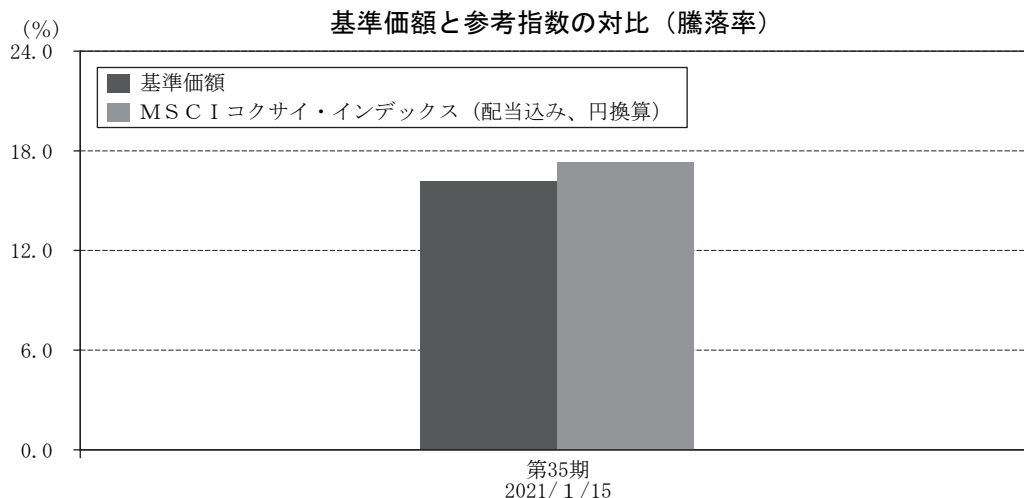
■ 当該投資信託のポートフォリオ

主要投資対象である世界主要国の上場株式等（投資証券を含む）の保有期間中の組入比率は概ね高位の水準を維持しました。また、企業収益見通しや株価バリュエーションを勘案し、銘柄入替えを行いました。主な入替えとしては、バーリントン・ストアーズ（米・衣料小売店経営会社）を新規に組入れました。一方、アッサ・アブロイ（スウェーデン・扉システムメーカー）を全売却しました。繰上償還に向けて2020年12月中旬に保有株式を全売却し、安定運用に切り替えました。

（注）文中の投資行動は、個別銘柄の売買等いかなる投資行動も推奨するものではありません。

■ 当該投資信託のベンチマークとの差異

当ファンドは運用の目標となるベンチマークを設けておりません。以下のグラフは、当ファンドの基準価額と参考指数の騰落率の対比です。



基準価額は参考指数を1.2%下回りました。参考指数との比較では、TSMC（台湾・半導体メーカー）、ナイキ（米・スポーツ用品製造販売会社）等の株価が相対的に堅調であったことがプラスに寄与しましたが、アストラゼネカ（英国・製薬会社）、レキットベンキナー・グループ（英・家庭用品メーカー）等の株価が相対的に軟調であったことがマイナスに寄与しました。

■ 今後の運用方針

繰上償還まで安定運用を継続します。

1 万口当たりの費用明細 (2020年 7 月 16 日から 2021 年 1 月 15 日まで)

費用の明細

項目	当期	
	2020/7/16~2021/1/15	
	金額	比率
平均基準価額	32,229円	
(a) 売買委託手数料	18円	0.056%
(株式)	(18)	(0.055)
(投資信託証券)	(0)	(0.001)
(b) 有価証券取引税	1	0.002
(株式)	(1)	(0.002)
(投資信託証券)	(0)	(0.000)
(c) その他費用	11	0.034
(保管費用)	(11)	(0.033)
(その他)	(0)	(0.000)
合計	30	0.092

(注) 費用項目につきましては 6 ページ (1 万口当たりの費用明細の項目の概要) をご参照ください。

売買および取引の状況 (2020年 7 月 16 日から 2021 年 1 月 15 日まで)

(1) 外国株式

		買 付		売 付	
		株 数	金 額	株 数	金 額
外	アメリカ	百株 161.13	千アメリカ・ドル 1,517	百株 1,135.3	千アメリカ・ドル 12,563
	イギリス	百株 2.16	千イギリス・ポンド 17	百株 931.5	千イギリス・ポンド 1,962
	スイス	百株 —	千スイス・フラン —	百株 506.53 (一)	千スイス・フラン 619 (5)
	スウェーデン	百株 1.58	千スウェーデン・クローナ 98	百株 235.73	千スウェーデン・クローナ 9,025
	ユーロ (フランス)	百株 —	千ユーロ —	百株 32.36	千ユーロ 380
	(オランダ)	百株 —	千ユーロ —	百株 327.92	千ユーロ 547
	(スペイン)	百株 —	千ユーロ —	百株 1,280.55	千ユーロ 505
国	(フィンランド)	百株 —	千ユーロ —	百株 74.98	千ユーロ 412

(注) 金額は受渡代金。単位未満は切捨て。ただし株数が単位未満の場合は小数で記載。

(注) () 内は、株式分割、予約権行使、合併等による増減分で、上段の数字には含まれておりません。

(2) 外国投資信託証券

		買 付		売 付	
		口 数	金 額	口 数	金 額
外国	アメリカ	口	千アメリカ・ドル	口	千アメリカ・ドル
	SBA COMMUNICATIONS CORP	103	31	3,536	1,007
	合 計	103	31	3,536	1,007

(注) 金額は受渡代金。単位未満は切捨て。

株式売買金額の平均組入株式時価総額に対する割合 (2020年7月16日から2021年1月15日まで)

項 目	当 期
(a) 期 中 の 株 式 売 買 金 額	2,153,156千円
(b) 期 中 の 平 均 組 入 株 式 時 価 総 額	1,590,412千円
(c) 売 買 高 比 率(a) / (b)	1.35

(注) (b)は各月末現在の組入株式時価総額の平均。

(注) 単位未満は切捨て。

当期中の主要な売買銘柄 (2020年7月16日から2021年1月15日まで)

外国株式 (上位10銘柄)

買		付		売		付	
銘 柄	株 数	金 額	平均単価	銘 柄	株 数	金 額	平均単価
	千株	千円	円		千株	千円	円
BURLINGTON STORES INC(アメリカ)	2.09	45,684	21,858	TAIWAN SEMICONDUCTOR-SP ADR(アメリカ)	11.169	115,075	10,303
PROCTER & GAMBLE CO/THE(アメリカ)	2.468	33,591	13,610	ALPHABET INC-CL A(アメリカ)	0.551	98,763	179,244
FIDELITY NATIONAL INFORMATIO(アメリカ)	1.899	28,735	15,132	PROCTER & GAMBLE CO/THE(アメリカ)	5.932	85,137	14,352
ELANCO ANIMAL HEALTH INC(アメリカ)	5.115	14,089	2,754	NIKE INC -CL B(アメリカ)	5.619	80,534	14,332
BOSTON SCIENTIFIC CORP(アメリカ)	3.134	11,296	3,604	BOSTON SCIENTIFIC CORP(アメリカ)	21.651	79,674	3,679
INTUIT INC(アメリカ)	0.185	6,372	34,448	FIDELITY NATIONAL INFORMATIO(アメリカ)	5.059	76,555	15,132
S&P GLOBAL INC(アメリカ)	0.137	4,812	35,124	HEXAGON AB-B SHS(スウェーデン)	8.609	73,406	8,526
TAIWAN SEMICONDUCTOR-SP ADR(アメリカ)	0.328	2,805	8,552	UBS GROUP AG(スイス)	50.653	72,167	1,424
ALPHABET INC-CL A(アメリカ)	0.014	2,204	157,462	INTUIT INC(アメリカ)	1.85	72,005	38,922
NIKE INC -CL B(アメリカ)	0.166	2,005	12,080	FERGUSON PLC(イギリス)	5.747	69,496	12,092

(注) 金額は受渡代金。単位未満は切捨て。ただし株数が単位未満の場合は小数で記載。

(注) 株式分割、合併等による増減分の調整は行っておりません。

利害関係人との取引状況等 (2020年7月16日から2021年1月15日まで)

当期における利害関係人との取引はありません。

(注) 利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人です。

組入資産の明細 (2021年1月15日現在)

当期末における組入れはありません。

投資信託財産の構成 (2021年1月15日現在)

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
	千円	%
コ ー ル ・ ロ ー ン 等 、 そ の 他	1,599,291	100.0
投 資 信 託 財 産 総 額	1,599,291	100.0

(注) 外貨建資産は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。

なお、当期末における邦貨換算レートは以下の通りです。

1 アメリカ・ドル=103.84円

(注) 当期末における外貨建純資産 (173千円) の投資信託財産総額 (1,599,291千円) に対する比率は0.0%です。

(注) 評価額の単位未満は切捨て。

資産、負債、元本および基準価額ならびに損益の状況

資産、負債、元本および基準価額の状況

2021年1月15日現在

項 目	当 期 末
(A) 資 産	1,599,291,414円
コール・ローン等	1,599,118,009
未 収 配 当 金	173,405
(B) 負 債	21,702,707
未 払 解 約 金	21,700,000
未 払 利 息	2,707
(C) 純 資 産 総 額 (A - B)	1,577,588,707
元 本	454,821,597
次 期 繰 越 損 益 金	1,122,767,110
(D) 受 益 権 総 口 数	454,821,597口
1 万 口 当 た り 基 準 価 額 (C / D)	34.686円

- (注) 期首元本額 572,153,929円
 期中追加設定元本額 10,482,353円
 期中一部解約元本額 127,814,685円
- (注) 1口当たり純資産額は3.4686円です。
- (注) 当マザーファンドを投資対象とする投資信託の当期末元本額の内訳
 世界優良株ファンド (3ヵ月決算型) 410,684,577円
 世界優良株ファンド (毎月決算型) 44,137,020円

損益の状況

当期 自2020年7月16日 至2021年1月15日

項 目	当 期
(A) 配 当 等 収 益	9,911,049円
受 取 配 当 金	8,735,883
受 取 利 息	1
そ の 他 収 益 金	1,255,361
支 払 利 息	△ 80,196
(B) 有 価 証 券 売 買 損 益	258,664,460
売 買 益	325,551,211
売 買 損	△ 66,886,751
(C) そ の 他 費 用	△ 582,215
(D) 当 期 損 益 金 (A + B + C)	267,993,294
(E) 前 期 繰 越 損 益 金	1,136,441,484
(F) 追 加 信 託 差 損 益 金	22,217,647
(G) 解 約 差 損 益 金	△ 303,885,315
(H) 合 計 (D + E + F + G)	1,122,767,110
次 期 繰 越 損 益 金 (H)	1,122,767,110

- (注) 損益の状況の中で
- (B) 有価証券売買損益は、期末の評価換えによるものを含みます。
- (F) 追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差引いた差額分をいいます。
- (G) 解約差損益金とあるのは、一部解約の際、元本から解約価額を差引いた差額分をいいます。

お知らせ

当ファンドは2021年2月17日に繰上償還を行うことが決定されたため、2020年12月16日に投資信託契約解約届出書を金融庁に提出しました。